

2025年12月期 決算短信【日本基準】(連結)

2026年2月12日

上場会社名 サイオス株式会社
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月25日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
2025年12月期	百万円 19,059	% △7.3	百万円 401	% —	百万円 497	% 163.4	百万円 320	% △9.0
2024年12月期	20,561	29.4	35	—	189	—	351	—

(注) 包括利益 2025年12月期 317百万円 (△16.2%) 2024年12月期 378百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2025年12月期	円 銭 36.93	円 銭 —	% 20.1	% 5.9	% 2.1
2024年12月期	40.57	—	26.8	2.6	0.2

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 35百万円 2024年12月期 66百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年12月期	百万円 8,662	百万円 1,856	% 20.2	円 銭 202.12
2024年12月期	8,085	1,537	17.7	165.51

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,752百万円 2024年12月期 1,434百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年12月期	百万円 196	百万円 △207	百万円 △70	百万円 3,586
2024年12月期	865	298	△127	3,677

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00	百万円 —	% —	% —
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00	5.00	11.7	11.7

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 20,000	% 4.9	百万円 450	% 12.1	百万円 510	% 2.5	百万円 370	% 15.6

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) サンディブルー株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期	8,874,400株	2024年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2025年12月期	205,338株	2024年12月期	205,838株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	8,668,954株	2024年12月期	8,668,562株

(注) 当社は取締役等に対する株式報酬制度を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	967	△7.1	85	△15.6	90	△10.5	56	—
2024年12月期	1,041	2.1	101	△7.5	100	△42.1	△569	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
2025年12月期	円 銭 6.48	円 銭 —
2024年12月期	△65.72	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年12月期	百万円 2,444	百万円 1,510	% 61.8	円 銭 174.19
2024年12月期	2,509	1,453	57.9	167.70

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,510百万円 2024年12月期 1,453百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2026年2月13日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	18
(1 株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<当連結会計年度の概況>

当連結会計年度においては、国内経済は雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、物価上昇の継続や米国の通商政策の影響により、依然として景気の下振れリスクが存在しております。また、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業の業務効率と生産性向上への強い意欲等を背景に競争力強化に向けたIT投資需要が堅調に推移しており、システムの再構築やAIエージェントをはじめとする高度なAI技術の活用等の戦略的IT投資需要は、今後も継続するものと見込まれております。

このような状況において、当社グループは中長期的な企業価値の向上と持続的成長の実現に向け、ストック型ビジネスモデルの拡大に継続して取り組むとともに、AIとオープンソースソフトウェアによる事業強化等を通じ、変化に柔軟かつ俊敏に対応してまいります。

当連結会計年度の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

① プロダクト&サービス

前連結会計年度に金融機関向け経営支援システム販売事業の株式譲渡を行い構造改革を実施した影響により、セグメント全体では減収増益となりました。

SaaS(*1)・サブスク(*2)サービスのクラウド型ワークフロー「Gluegent Flow」やIDの管理をクラウドで行う「Gluegent Gate」等の「Gluegentシリーズ」(*3)は、生成AI搭載を中心としたユーザーアシスト等の機能強化が評価され、ARRが伸長し増益に寄与しました。

主力自社製品である「LifeKeeper」(*4)販売は増収となり、利益面では米国連結子会社においてコストの見直しを実施した結果、増益となりました。これらにより、売上高は5,751百万円（前年同期比7.3%減）、セグメント利益は726百万円（前年同期比48.0%増）となりました。

② コンサルティング&インテグレーション

セグメント全体ではIT投資の堅調な需要を捉え受注が順調に推移し増収増益となりました。

金融機関向け及び文教向けのシステム開発・構築支援では案件獲得が順調に推移し増収増益となりました。今後高い成長が見込まれるAPI(*5)ソリューション領域においては増収となりましたが、案件獲得に注力するとともに開発体制を強化したため、一部利益率の低い案件の受注、人件費等のコスト増により減益となりました。これらにより、売上高は3,459百万円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益は343百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

③ ソフトウェアセールス&ソリューション

セグメント全体では前連結会計年度第1四半期に計上したRed Hat, Inc.関連商品(*6)の大型案件の売上が無くなつたことにより減収となったものの、前連結会計年度より業務提携を開始したElasticsearch株式会社関連商品(*7)が売上を伸ばし増益に寄与しました。これらにより、売上高は9,860百万円（前年同期比12.9%減）、セグメント利益は142百万円（前年同期比28.6%増）となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は19,059百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は401百万円（前年同期は35百万円の利益）、持分法による投資利益35百万円及び受取利息28百万円等の計上により経常利益は497百万円（前年同期比163.4%増）、法人税、住民税及び事業税の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は320百万円（前年同期比9.0%減）となり、経常利益については過去最高値を更新しました。

当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本+有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：460百万円（前年同期比428.6%）

ROIC（年率換算数値）：14.2%（前年同期は1.5%）

(*) SaaS

Software as a Serviceの略。ソフトウェアをクラウドサービスとして提供すること。

(*) サブスク

サブスクリプションの略。ソフトウェア等の製品・サービスの提供に対して、定期的に定額課金または従量課金するモデル。

(*) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(*) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*) API

ソフトウェアやアプリケーション同士が互いに情報をやり取りするための仕組み。

(*) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。

(*) Elasticsearch株式会社関連商品

オープンソース型の高速検索・分析エンジン「Elasticsearch（エラスチックサーチ）」を活用して、生成AIの精度を向上させる「RAG構築支援コンサルティングサービス」。

（2）当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、売掛金及び契約資産の増加698百万円等の要因により、7,580百万円（前連結会計年度末比5.6%増）となりました。

固定資産は、ソフトウェアの増加269百万円等の要因により、1,081百万円（同18.8%増）となりました。

この結果、総資産は、8,662百万円（同7.1%増）となりました。

②負債

流動負債は、買掛金の増加459百万円等の要因により、6,404百万円（前連結会計年度末比3.6%増）となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加24百万円等の要因により、400百万円（同9.7%増）となりました。

この結果、負債合計は、6,805百万円（同3.9%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金の増加320百万円等の要因により、1,856百万円（前連結会計年度末比20.8%増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し3,586百万円となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	865	196	△668
投資活動によるキャッシュ・フロー	298	△207	△505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127	△70	57

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは196百万円の収入となりました。これは、税金等調整前当期純利益等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは207百万円の支出となりました。これは、無形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは70百万円の支出となりました。これは、長期借入金の返済による支出等によるものです。

(4) 今後の見通し

現在の景気は緩やかに回復傾向を見せていましたが、依然として、人手不足や金利上昇、円安進行、原材料価格の高騰、米国の通商政策の影響等、経済の先行きには多くの不確実性が存在しています。情報サービス産業におきましては、生成AIやAIエージェントを始めとするAI技術の高度化・実用化の進展等、情報通信に関する市場環境の変化がさらに加速するものと思われます。このような環境下で、当社グループは、引き続きストック型ビジネスモデルの拡大に取り組むとともに、AIとオープンソースソフトウェアによる事業強化等を通じ、変化に柔軟かつ俊敏に対応してまいります。

2026年12月期の業績については、売上高は20,000百万円（前年同期比4.9%増）、ストック型ビジネスモデルの拡大による利益率の向上に伴い、営業利益は450百万円（前年同期比12.1%増）、経常利益は510百万円（前年同期比2.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は370百万円（前年同期比15.6%増）を見込んでいます。

利益配分につきまして、経営成績及び財務状況を勘案し、当期は無配とさせていただきます。2026年12月期につきましては、1株当たり配当金を5円とする予定です。今後も収益力の強化に努め、さらなる還元水準の向上を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,677,914	3,586,717
売掛金及び契約資産	2,549,132	3,248,024
仕掛品	8,909	2,623
前渡金	645,085	437,766
その他	294,680	305,860
流動資産合計	7,175,721	7,580,992
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	32,268	25,575
工具、器具及び備品（純額）	29,394	20,815
リース資産（純額）	5,738	17,194
有形固定資産合計	67,401	63,585
無形固定資産		
ソフトウエア	8,485	277,815
ソフトウエア仮勘定	95,218	—
その他	1,441	1,441
無形固定資産合計	105,145	279,256
投資その他の資産		
投資有価証券	427,662	448,425
退職給付に係る資産	2,401	4,974
差入保証金	114,268	108,432
繰延税金資産	141,225	122,497
その他	51,494	53,859
投資その他の資産合計	737,052	738,189
固定資産合計	909,599	1,081,031
資産合計	8,085,320	8,662,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,546,836	2,006,139
1年内返済予定の長期借入金	49,500	—
リース債務	22,554	19,507
未払法人税等	241,270	43,312
契約負債	3,850,313	3,952,929
役員賞与引当金	9,900	—
株主優待引当金	—	12,564
その他	462,637	370,501
流動負債合計	6,183,013	6,404,953
固定負債		
退職給付に係る負債	305,897	330,105
リース債務	30,249	27,730
役員株式給付引当金	15,200	30,865
長期預り金	13,553	11,632
固定負債合計	364,900	400,333
負債合計	6,547,913	6,805,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	65,359	385,493
自己株式	△80,794	△80,598
株主資本合計	1,466,084	1,786,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,145	△948
繰延ヘッジ損益	6,009	1,923
為替換算調整勘定	△36,256	△35,231
その他の包括利益累計額合計	△31,392	△34,256
新株予約権	102,715	104,577
純資産合計	1,537,407	1,856,735
負債純資産合計	8,085,320	8,662,023

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	20,561,583	19,059,817
売上原価	15,230,607	13,767,122
売上総利益	5,330,975	5,292,694
販売費及び一般管理費	5,295,883	4,891,176
営業利益	35,092	401,518
営業外収益		
受取利息	24,385	28,030
為替差益	—	21,558
受取配当金	456	45
業務受託料	2,147	2,226
持分法による投資利益	66,261	35,177
デリバティブ評価益	91,243	6,142
その他	17,033	8,966
営業外収益合計	201,528	102,148
営業外費用		
支払利息	853	422
為替差損	37,752	—
投資事業組合運用損	4,585	2,646
外国源泉税	2,846	2,801
その他	1,577	17
営業外費用合計	47,616	5,887
経常利益	189,004	497,779
特別利益		
投資有価証券売却益	23,623	—
関係会社株式売却益	442,875	—
特別利益合計	466,498	—
特別損失		
投資有価証券評価損	2,566	1,439
減損損失	58,043	9,182
固定資産除却損	56	0
特別損失合計	60,666	10,621
税金等調整前当期純利益	594,836	487,158
法人税、住民税及び事業税	252,170	146,129
法人税等調整額	△9,037	20,894
法人税等合計	243,132	167,023
当期純利益	351,703	320,134
親会社株主に帰属する当期純利益	351,703	320,134

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	351,703	320,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,941	196
繰延ヘッジ損益	5,821	△4,085
為替換算調整勘定	31,216	△580
持分法適用会社に対する持分相当額	808	1,605
その他の包括利益合計	26,903	△2,864
包括利益	378,607	317,270
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	378,607	317,270

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,481,520	—	△236,541	△87,254	1,157,723
当期変動額					
剩余金の配当			△43,342		△43,342
親会社株主に帰属する当期純利益			351,703		351,703
自己株式の処分		△6,459		85,839	79,380
自己株式の取得				△79,380	△79,380
自己株式処分差損の振替		6,459	△6,459		—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	301,901	6,459	308,360
当期末残高	1,481,520	—	65,359	△80,794	1,466,084

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,796	187	△68,280	△58,296	88,534	1,187,961
当期変動額						
剩余金の配当						△43,342
親会社株主に帰属する当期純利益						351,703
自己株式の処分						79,380
自己株式の取得						△79,380
自己株式処分差損の振替						—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△10,941	5,821	32,024	26,903	14,180	41,084
当期変動額合計	△10,941	5,821	32,024	26,903	14,180	349,445
当期末残高	△1,145	6,009	△36,256	△31,392	102,715	1,537,407

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,481,520	—	65,359	△80,794	1,466,084
当期変動額					
剩余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益			320,134		320,134
自己株式の処分				196	196
自己株式の取得					—
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	320,134	196	320,330
当期末残高	1,481,520	—	385,493	△80,598	1,786,415

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1,145	6,009	△36,256	△31,392	102,715	1,537,407
当期変動額						
剩余金の配当				—		—
親会社株主に帰属する当期純利益				—		320,134
自己株式の処分				—		196
自己株式の取得				—		—
自己株式処分差損の振替				—		—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	196	△4,085	1,024	△2,864	1,862	△1,001
当期変動額合計	196	△4,085	1,024	△2,864	1,862	319,328
当期末残高	△948	1,923	△35,231	△34,256	104,577	1,856,735

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	594,836	487,158
減価償却費	52,093	59,323
減損損失	58,043	9,182
受取利息及び受取配当金	△24,842	△28,075
支払利息	853	422
投資事業組合運用損益（△は益）	4,585	2,646
投資有価証券売却損益（△は益）	△23,623	—
関係会社株式売却損益（△は益）	△442,875	—
持分法による投資損益（△は益）	△66,261	△35,177
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△183,532	△696,249
棚卸資産の増減額（△は増加）	△12,509	6,286
仕入債務の増減額（△は減少）	321,558	459,303
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	21,946	24,207
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	15,200	15,847
契約負債の増減額（△は減少）	743,338	110,630
前渡金の増減額（△は増加）	△112,588	207,318
未払消費税等の増減額（△は減少）	△24,965	△100,950
その他	△42,733	△2,884
小計	<hr/> 878,524	<hr/> 518,987
利息及び配当金の受取額	32,363	38,426
利息の支払額	△853	△422
法人税等の還付額	1,364	—
法人税等の支払額	△45,871	△360,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	<hr/> 865,527	<hr/> 196,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,120	△12,709
無形固定資産の取得による支出	△89,766	△203,131
差入保証金の差入による支出	△232	△63
差入保証金の回収による収入	—	508
関係会社株式の売却による収入	349,339	—
投資有価証券の売却による収入	37,479	—
投資事業組合からの分配による収入	—	1,774
その他	9,310	6,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	<hr/> 298,009	<hr/> △207,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△43,614	△51
自己株式の取得による支出	△79,830	—
自己株式の処分による収入	79,830	—
長期借入金の返済による支出	△66,000	△49,500
リース債務の返済による支出	△18,368	△21,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,982	△70,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,358	△10,064
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,073,912	△91,197
現金及び現金同等物の期首残高	2,604,002	3,677,914
現金及び現金同等物の期末残高	3,677,914	3,586,717

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、区分掲記しておりました「有形固定資産」の「減価償却累計額」は、連結財務諸表の明瞭性を高めるため、当連結会計年度より各資産項目の金額から直接控除して表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結財務諸表において、「有形固定資産」に表示していた「建物」107,053千円及び「減価償却累計額」△74,785千円、「工具、器具及び備品」118,458千円及び「減価償却累計額」△89,064千円、「リース資産」19,129千円及び「減価償却累計額」△13,390千円は、「建物（純額）」「工具、器具及び備品（純額）」「リース資産（純額）」として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、市場・顧客及び技術領域に応じた部門及び子会社を置き、自社開発ソフトウェア製品及びSaaS製品の開発・販売・サポート分野、情報システムの企画から開発・運用にわたるコンサルティング及びシステムインテグレーションサービス分野、並びに国内外の先端ソフトウェアの販売とテクニカルサポート分野において各種製品・サービスを提供しております。

したがって、当社グループは、「プロダクト&サービス」、「コンサルティング&インテグレーション」及び「ソフトウェアセールス&ソリューション」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメントの事業内容は以下のとおりであります。

・プロダクト&サービス

当事業においては、ITシステムの障害時のシステムダウンを回避できるソフトウェア「LifeKeeper」、MFP向けソフトウェア製品、SaaS・サブスクサービスのクラウド型ワークフロー「Gluegent Flow」やIDの管理をクラウドで行う「Gluegent Gate」の販売やサポート等を行っています。

・コンサルティング&インテグレーション

当事業においては、OSSに関するさまざまな問い合わせに対応するサービス「サイオスOSSよろず相談室」、金融機関向けサービス、企業情報システムの受託開発や生成AI導入支援、各種情報システム向けコンサルティングサービス等を行っています。

・ソフトウェアセールス&ソリューション

当事業においては、Red Hat, Inc. 関連商品やElasticsearch株式会社関連商品をはじめとするOSS関連商品の販売とテクニカルサポートを行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業損益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、当社では報告セグメントに資産を配分しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	プロダクト &サービス	コンサルティ ング&インテ グレーション	ソフトウェア セールス&ソ リューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,203,075	3,038,335	11,318,573	20,559,983	1,600	20,561,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,193	11,906	—	13,100	△13,100	—
計	6,204,269	3,050,241	11,318,573	20,573,084	△11,500	20,561,583
セグメント利益	490,609	311,752	110,605	912,967	△877,875	35,092
その他の項目						
減価償却費	40,164	7,594	4,335	52,093	—	52,093

(注) 1. セグメント利益の調整額△11,500千円には、セグメント間取引消去△13,100千円、各報告セグメントに配分していらない全社収益1,600千円が含まれております。全社収益は、主に関連会社からの業務受託料であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	プロダクト &サービス	コンサルティ ング&インテ グレーション	ソフトウェア セールス&ソ リューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,750,058	3,448,353	9,860,806	19,059,217	600	19,059,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,460	10,932	—	12,393	△12,393	—
計	5,751,518	3,459,285	9,860,806	19,071,610	△11,793	19,059,817
セグメント利益	726,235	343,526	142,271	1,212,032	△810,514	401,518
その他の項目						
減価償却費	33,785	10,049	15,488	59,323	—	59,323

(注) 1. セグメント利益の調整額△11,793千円には、セグメント間取引消去△12,393千円、各報告セグメントに配分していらない全社収益600千円が含まれております。全社収益は、主に関連会社からの業務受託料であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、2025年2月14日に公表の中期経営計画でビジネスモデル毎の経営戦略を設定するとともに、中期経営計画の進捗を的確に把握するために、業績を評価するための事業セグメントの集約区分の見直しを行っております。

具体的にはビジネスモデル軸での事業セグメント集約区分とし、従来の「オープンシステム基盤事業」「アプリケーション事業」の2区分から「プロダクト&サービス」「コンサルティング&インテグレーション」「ソフトウェアセールス&ソリューション」の以下の3区分に変更しております。

①プロダクト&サービス

「LifeKeeper」や「Gluegent Flow」「Gluegent Gate」、MFP向けソフトウェア製品をはじめとする自社開発ソフトウェア製品及びSaaS製品の開発・販売サポート

②コンサルティング&インテグレーション

金融、文教、医療、APIを中心とした領域における情報システムの企画から開発・運用にわたるコンサルティング及びシステムインテグレーションサービス

③ソフトウェアセールス&ソリューション

Red Hat, Inc. やElasticsearch K.K等の国内外の先端ソフトウェアの販売とテクニカルサポート

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の区分方法、測定方法に基づき作成したものを開示しております。

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

上記の中期経営計画の策定を契機に、セグメントの業績をより適切に評価するため、当社から各グループへの業務支援に係る人件費及び減価償却費を含むその他の経費等本社業務に係る費用は、報告セグメントに帰属しない全社費用として各セグメントへの配賦を行わずにセグメント利益の「調整額」として計上する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の区分方法、測定方法に基づき作成したものを開示しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報**(1) 売上高**

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
19,727,942	467,595	244,553	121,493	20,561,583

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	計
67,401	—	67,401

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大塚商会	6,067,031	プロダクト&サービス コンサルティング&インテグレーション ソフトウェアセールス&ソリューション
株式会社ネットワールド	2,599,494	プロダクト&サービス コンサルティング&インテグレーション ソフトウェアセールス&ソリューション

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報**(1) 売上高**

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
18,234,906	456,356	237,068	131,485	19,059,817

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	計
63,585	—	63,585

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大塚商会	5,435,903	プロダクト&サービス コンサルティング&インテグレーション ソフトウェアセールス&ソリューション
株式会社ネットワールド	2,279,192	プロダクト&サービス コンサルティング&インテグレーション ソフトウェアセールス&ソリューション

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	プロダクト&サービス	コンサルティング&インテグレーション	ソフトウェアセールス&ソリューション	計		
減損損失	58,043	—	—	58,043	—	58,043

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	プロダクト&サービス	コンサルティング&インテグレーション	ソフトウェアセールス&ソリューション	計		
減損損失	7,292	1,889	—	9,182	—	9,182

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	プロダクト&サービス	コンサルティング&インテグレーション	ソフトウェアセールス&ソリューション	計		
収益認識の時期						
一時点で移転される財又はサービス	1,410,520	320,958	11,017,259	12,748,738	—	12,748,738
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	4,792,554	2,717,376	301,313	7,811,244	1,600	7,812,844
顧客との契約から生じる収益	6,203,075	3,038,335	11,318,573	20,559,983	1,600	20,561,583
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,203,075	3,038,335	11,318,573	20,559,983	1,600	20,561,583

(注)「調整額」の区分は報告セグメントに帰属しない当社の管理部門の業務受託収入等の付随的な収益1,600千円であります。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	プロダクト&サービス	コンサルティング&インテグレーション	ソフトウェアセールス&ソリューション	計		
収益認識の時期						
一時点で移転される財又はサービス	1,274,284	331,929	9,487,325	11,093,539	—	11,093,539
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	4,475,773	3,116,424	373,480	7,965,677	600	7,966,277
顧客との契約から生じる収益	5,750,058	3,448,353	9,860,806	19,059,217	600	19,059,817
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,750,058	3,448,353	9,860,806	19,059,217	600	19,059,817

(注)「調整額」の区分は報告セグメントに帰属しない当社の管理部門の業務受託収入等の付随的な収益600千円であります。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	165.51円	202.12円
1株当たり当期純利益	40.57円	36.93円

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1 株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1 株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。

1 株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当連結会計年度205,446株であり、1 株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、当連結会計年度205,338株であります。

3. 1 株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	351,703	320,134
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	351,703	320,134
普通株式の期中平均株式数(株)	8,668,562	8,668,954
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	(連結子会社) 新株予約権 2012年3月22日 取締役会決議 普通株式 607,583株 新株予約権 2022年3月30日 取締役会決議 普通株式 208,396株	(連結子会社) 新株予約権 2012年3月22日 取締役会決議 普通株式 582,271株 新株予約権 2022年3月30日 取締役会決議 普通株式 312,125株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。